

# 群馬イノベーションアワード2021・トップ座談会⑤



座談会の5回目は、座長の岩井雅之・ファームドゥグループ代表ら10人が、「Withコロナ・Afterコロナにおける、わが社のイノベーション」をテーマに、5年先、10年先を見据えた新たなビジネスの可能性や取り組みなどについて意見を交わした。(原則金曜日掲載)

## 再エネで農業推進 他社より一歩前へ 多様な学びが評価

岩井 農産物直売所 農業生産、再生可能エネルギー事業を展開している。国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿った、未利用資源を活用する環境配慮型有機農業に力を入れている。

相川 相川管理は、上下水道や農業用水路といった地下の埋設管のメンテナンス、改修が主な事業。特に首都圏の配管の多くが更新時期を迎え、青森から大阪までJR各線路下にある排水設備を改修しているため、新型コロナウイルスの影響は大きく受けずに済んでいる。

平国 太陽誘電は、電子部品の開発・製造・販売を手掛けている。スマートフォンや自動車を使用する積層セラミックコンデンサのシェアは、世界3位を誇る。新型コロナウイルスの影響によりリモートワークなどによって電子機器の需要が伸び、売上高更新する見通しだ。

松本 グルメフレッシュ・フーズは、国産豚の肉つ煮やホルモン焼きの製造・販売を手掛ける。7割がスーパー、3割が都内を中心とした飲食店に卸していたが、コロナ禍で飲食店の売り上げはほとんどなくなった。経営する前橋市の焼き肉店「ファミリア太閤」も厳しい状況が続いているが、感染対策を徹底して通常営業を再開している。

千吉良 コーエイは、建設機械レンタルをはじめ、イベントプロデュース、環境機器の設備工事などの事業を手掛ける。コロナ禍でイベントが中止や延期になり、大打撃を受けたが、これまでの経験と知識を感染対策に生かし、発熱外来やPCR検査会場の設置、Gメッセ群馬を会場としたワクチン接種会場の運営業務も県から受託した。さらにAIサーモカメラや空気清浄機、高性能マスクやフェースシールドの販売も展開している。

小林 新一・花助社長は、おむろ・あきお 1968年、仙台市生まれ。96年に共愛学園に入職。2016年から現職。21年から運営する同大短期大学の学長を兼務。全国の学長が注目する学長ランキング4位(大学ランキング2022)。

坂入 勝氏は、おむろ・あきお 1968年、仙台市生まれ。96年に共愛学園に入職。2016年から現職。21年から運営する同大短期大学の学長を兼務。全国の学長が注目する学長ランキング4位(大学ランキング2022)。

大森 昭生氏は、おむろ・あきお 1968年、仙台市生まれ。96年に共愛学園に入職。2016年から現職。21年から運営する同大短期大学の学長を兼務。全国の学長が注目する学長ランキング4位(大学ランキング2022)。

底にあるのはデジタルに頼る教育ではなく、この地で学ぶこと。学び、入学し、受験も年々増えていく。受験者も年々増えている。国が推進するデジタルを活用した教育プランに、AIで個別に最適な学びを分析する取り組みが採択された。しかし、根

## 10年先考えた開発 新たな市場で回復 外食の価値を追求

小林 花助は、前橋市

モートにそぐわないが、コロナ禍で培った新たな動き方を推進し、イノベーションを生み出すことも一つの挑戦だ。

# 将来見据えチャレンジ



**座談会参加者**

**岩井 雅之・ファームドゥグループ代表**  
いわい・まさゆき 1954年、富岡市生まれ。94年に脱サラし独立。農業資材販売のファームランド設立。グループ企業3社を経営し、農産物生産販売、太陽光発電などを手掛ける。

**相川 宇三郎・相川管理社長**  
あいかわ・うさぶろう 1951年、安中市生まれ。78年、管路総合エンジニアリングの相川管理を現会長と共に設立。公共設備や鉄道等の管理事業で規模を拡大し、2016年から現職。

**大森 昭生**  
共愛学園前橋国際大学長  
おむろ・あきお 1968年、仙台市生まれ。96年に共愛学園に入職。2016年から現職。21年から運営する同大短期大学の学長を兼務。全国の学長が注目する学長ランキング4位(大学ランキング2022)。

**松本 健**  
グルメフレッシュ・フーズ社長  
まつもと・たけし 1971年、前橋市生まれ。大学卒業後、98年にグルメフレッシュ・フーズを設立。「安心とおいしさをまごころこめて」を理念としている。2017年、グロービス経営大学院にて経営学修士を取得。

**千吉良 康仁**  
コーエイEC事業部本部長  
ちぎら・やすひと 1975年、藤岡市生まれ。98年コーエイEC事業部に入社。県内を中心にさまざまなイベントをプロデュースしている。

**平国 正一郎**  
太陽誘電開発研究所長  
ひろくに・しょういちろう 1965年、鹿児島県鹿児島市生まれ。大学卒業後、88年太陽誘電入社。主に研究所にて研究開発に従事。2017年から現職。

**小林 新一・花助社長**  
こばやし・しんいち 1972年、前橋市生まれ。米国、オランダに

内では生花店を営み、全国に花を届けるサービスを提供している。全国約120店の生花店「フワ」をネットワークワークを築き、注文を受けると近く

の提携店が対応して花を届けるワンストップサービスを提供している。全国約120店の生花店「フワ」をネットワークワークを築き、注文を受けると近く

や舞台、握手会などの各用を生花の商開発に着目して購入し、売上げは半分以下になった。

たな市場をつくり、売上げの回復につなげた。

坂入 美喜仁は桐生市内に3店舗、太田市と高崎市に各1店舗、すしや日本料理を中心とした外食産業を展開している。今年、桐生市市民文化会館の愛称命名権を取得した。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大で、売上げの7割を占める宴会やケータリングが全てキャンセルになった。テイクアウトを導入し、デリバリーを強化。新規ステーキ店開店や「デパ地下」の惣菜店出店、法人向けの弁当販売、ECサイトでお中元やお歳暮販売などに取り組んだ。その中で気がついたことは、足を運ばなくなった店作りだ。今年度5年で4倍の成長戦

3万〜4万円の冠婚葬祭用の生花の商開発に着目して購入し、売上げは半分以下になった。

たな市場をつくり、売上げの回復につなげた。

坂入 美喜仁は桐生市内に3店舗、太田市と高崎市に各1店舗、すしや日本料理を中心とした外食産業を展開している。今年、桐生市市民文化会館の愛称命名権を取得した。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大で、売上げの7割を占める宴会やケータリングが全てキャンセルになった。テイクアウトを導入し、デリバリーを強化。新規ステーキ店開店や「デパ地下」の惣菜店出店、法人向けの弁当販売、ECサイトでお中元やお歳暮販売などに取り組んだ。その中で気がついたことは、足を運ばなくなった店作りだ。今年度5年で4倍の成長戦

経営会議で上がる議題の6割は、日報からの情報。良い意見や提案はすぐに採用する。社の方針に関わるため、アルバイトであっても経営への参画意識を持つ環境となっている。全員が実行力が高い組織を目指し、日々取り組んでいる。

高橋 メモリードは、冠婚葬祭を中心にホテルレストランを展開。県内初の民間葬祭場の建設や葬祭料金の明確化など葬儀革命を進めた。約10年前から家族葬や式を挙げない「シンプル婚」や「2人」や価値観が変化し始めたコロナ禍でライフスタイルも大きく変わった。

今年、スローガンは「新時代への変革と挑戦。参列できない人に向けた冠婚葬祭のウェーブ配信、祝儀や香典のクレジット決済、前焼香2部制の結婚式などを実施。今後は要望の高いハワイ沖縄、軽井沢のリゾートウェディングも手掛ける。女性責任者の活躍の場を増やし、さらなる地元密着とサービスの質の向上にも努めていく。

**12月5日にファイナル 18組がプレゼン**

「群馬イノベーションアワード(GIA)2021」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)のファイナルステージが12月5日、前橋市のヤマダグリーンホール前橋で公開で開かれる。2次審査を通過した18組がプレゼンテーションする。

午後1時開幕。公開審査のほか、デザインコンサルティングを国内外で展開するロフトワーク(東京都)の林千晶会長が特別講演する。また、オープニングでのライブコーディングパフォーマンスやインターバルコンテンツとして高校生らのパフォーマンスを予定。

入場無料。一般観覧の申し込みも受け付けている。問い合わせは事務局(☎027・254・9955)または専用サイト=QRコード=へ。